

当院では院内トリアージを実施しています。

当院では、救急車で来院される重篤な方以外で救急外来を受診される患者様に対して、看護師による『院内トリアージ』を実施しています。



院内トリアージとは・・・

『院内トリアージ』とは、救急センターを受診した患者様に対し、看護師が速やかに状態を評価し、緊急度・重症度に応じて診察の優先順位を判断していくことです。この院内トリアージの過程は、まず、救急センターを受診される患者様に受付後、問診票を記入してもらいます。そして、看護師が病状を伺ったり、血圧や脈拍、体温などの測定を行います。それらを統合し、患者様の病状における緊急度・重症度の判断を行い、診察の順番を決定していきます。



診察は、来院された順番ではなく、重症度・緊急度の高い順です

救急センターでは、昼夜、平日・休日を問わず、年齢や性別、生活背景も様々な患者様が多く来院されます。

歩いて来院される患者様でも、生命や予後に大きな影響を及ぼす恐れのある緊急度の高い患者様もおられます。反対に、救急車で搬送されてきた患者様であっても、緊急度が低いと判断される場合には待合室でお待ちいただくこともあります。

一般外来が休診となる夜間や休日には、救急センターは特に混雑しますので、効率的な治療を行い、緊急度・重症度の高い患者様の重篤化を予防するためにも、一定の基準を設け、診察の優先順位を選別する院内トリアージを実施していくことは大変重要な取り組みとなります。



重症度について

- 重症・・・ 医師の診察が至急必要な、生命の危機に瀕した患者様
- 中等症・・・ 医師が早期に診察をしなければいけない重篤な患者様
- 軽症・・・ 生命の危機にかかわる可能性の低い患者様

※中等症、軽症の方は診察をお待ちいただく場合がございます。

院内トリアージについてご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。
また、何かご不明な点等ございましたら、看護師又は医師にご質問下さい。

